

[平成22年度設置]

計画の区分：大学院の研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

山形大学大学院 理工学研究科 有機材料工学専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書国立大学法人 山形大学
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画部企画課

職名・氏名 課長・^{アラキ}荒木 ^{タカユキ}隆幸

電話番号 023-628-4190

（夜間） 023-628-4190

FAX 023-628-4849

e-mail kikadai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	既設大学等の状況	8
4	教員組織の状況	10
5	その他全般的事項	11

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 山 形 大 学

(2) 大 学 名

山 形 大 学

(3) 大学の位置

山形大学大学院理工学研究科
〒992-8510
山形県米沢市城南四丁目3番16号

(山形大学本部
〒990-8560
山形県山形市小白川町一丁目4番12号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称、定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
理工学研究科 有機材料工学専攻 (博士後期課程) 博士(工学)	3年	9人	27人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区 分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	9人 (若干人) [-]		9人 (若干人) [-]		9人 (若干人) [-]		1.51倍	
志願者数	8 (2) [-]	5 (3) [2]	13 (4) [2]	- (-) [-]	18 (5) [3]	- (-) [-]		
受験者数	8 (2) [-]	5 (3) [2]	13 (4) [2]	- (-) [-]	17 (5) [3]	- (-) [-]		
合格者数	8 (2) [-]	5 (3) [2]	13 (4) [2]	- (-) [-]	17 (5) [3]	- (-) [-]		
B 入学者数	8 (2) [-]	5 (3) [2]	12 (4) [2]	- (-) [-]	16 (5) [2]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.44		1.33		1.77			

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については、届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 8	[2] 5	[2] 12	[-] -	[2] 16	[-] -			
2年次			[-] 8	[2] 5	[2] 11	[-] -			
3年次					[-] 7	[2] 5			
計	[2] 13		[4] 25		[6] 39				

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	13 人	1 人	平成22年度	人	人		7.7 %
			平成23年度	1 人	人	就職活動	
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	12 人	1 人	平成23年度	1 人	人	経済的理由	8.3 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	16 人	0 人	平成24年度	人	人		0.0 %
合 計	41 人	2 人					4.9 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学研究科 有機材料工学専攻>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置						備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目	機能材料物理学特論	1 前		2		1						
	ソフトマテリアル工学特論	1 前		2			1					
	高分子固体構造特論	1 前		2					1			
	機能材料表面物性特論	1 前		2		1						
	高分子物性工学特論	1 前		2		1						
	レオロジー工学特論	1 前		2		1						
	材料システム学特論	1 前		2		1						
	高分子強度設計学特論	1 後		2		1						
	高分子構造物性特論	1 後		2			1					
	プラスチック製品設計工学	1 後		2		1						
	分子機能材料化学特論	1 後		2		1						
	複合高分子機能材料特論	1 後		2		1						
	有機デバイス特論	1 後		2		1						
	分岐高分子設計学特論	1 前		2		1						
	生体高分子材料化学特論	1 前		2			1					
	高分子加工学特論	1 後		2			1	4				昇任による職位の変更 (22)
	ソフト材料加工学特論	1 後		2				1				
	高分子ナノ構造特論	1 後		2		1						
	高分子物性・材料特論	1 前		2				1				
	天然物複合高分子特論	1 後		2				1		4		昇任による職位の変更 (22)
	生物資源利用化学特論	1 後		2			1					
	生体模倣化学特論	1 後		2			1					
	超分子有機化学特論	1 前		2			1					
	機能有機材料化学特論	1 前		2				1				
	速度プロセス特論	1 前		2				1				
	固体量子物性特論	1 後		2			1					
	機能界面設計工学特論	1 後		2				1				
	触媒化学特論	1 前		2			1					
	電子移動化学特論	1 後		2			1					
	微粒子設計工学特論	1 前		2			1					
	伝熱促進工学特論	1 後		2				1				
	液体混合工学特論	1 前		2			1					
								18				
						22	17		5		人事異動のため (24)	
						21	16		4		人事異動のため (23)	
有機材料工学研究計画	2 通	0				23	14		1		人事異動のため (22)	
							18					
						22	17		5		人事異動のため (24)	
						21	16		4		人事異動のため (23)	
有機材料工学特別計画研究	1 通	2				23	14		1		人事異動のため (22)	
							18					
						22	17		5		人事異動のため (24)	
						21	16		4		人事異動のため (23)	
有機材料工学特別教育研修	1 通	0				23	14		1		人事異動のため (22)	
							18					
						22	17		5		人事異動のため (24)	
						21	16		4		人事異動のため (23)	
有機材料工学特別演習 B	1～3 通	0				23	14		1		人事異動のため (22)	
							18					
						22	17		5		人事異動のため (24)	
						21	16		4		人事異動のため (23)	
有機材料工学特別実験 B	1～3 通	4				23	14		1		人事異動のため (22)	

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

届 出 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	32	0	37	5	32	0	37	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 *該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目 *該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

* 該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計 届出時の計画の授業科目数の計	=	* 該当なし
--------------------------------	---	--------

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	山 形 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 学 員	収 定 容 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
人文学部						1.04		山形県 山形市小白川町 一丁目 4 番 12 号		
人間文化学科	4	100		400	学士（文学）	1.08	平成 8 年度			
法経政策学科	4	200		800	学士 （法学、経済 学、政策科学）	1.02	平成 18 年度			
（学部共通）			3 年次 20	40						
地域教育文化学部						1.06		山形県 山形市小白川町 一丁目 4 番 12 号		
地域教育文化学科	4	240		240	学士（教育学） 学士（学術）	1.06	平成 24 年度			
地域教育学科	—	—		—		—			平成 24 年度から学生募集停止	
文化創造学科	—	—		—		—			平成 24 年度から学生募集停止	
生活総合学科	—	—		—		—			平成 24 年度から学生募集停止	
理学部						1.03		山形県 山形市小白川町 一丁目 4 番 12 号		
数理科学科	4	45		180	学士（理学）	1.05	平成 7 年度			
物理学科	4	35		140		1.07	平成 7 年度			
物質生命化学科	4	45		180		1.00	平成 7 年度			
生物学科	4	30		120		1.00	平成 7 年度			
地球環境学科	4	30		120		1.01	平成 7 年度			
医学部						1.00		山形県 山形市飯田西 二丁目 2 番 2 号		
医学科	6	125		705	学士（医学）	1.00	昭和 48 年度		平成 22 年度入学定員変更	
看護学科	4	60	3 年次 5	250	学士（看護学）	1.01	平成 5 年度		平成 22 年度第 3 年次編入学定員変更	
工学部						1.05		山形県 米沢市城南四丁目 3 番 16 号		
（昼間コース）										
機能高分子工学科	4	110		445	学士（工学）	1.05	平成 12 年度		平成 22 年度入学定員変更	
物質化学工学科	4	75		340		1.04	平成 12 年度		平成 22 年度入学定員変更	
バイオ化学工学科	4	60		180		1.03	平成 22 年度			
応用生命システム工学科	4	60		240		1.06	平成 12 年度			
情報科学科	4	75		305		1.07	平成 12 年度		平成 22 年度入学定員変更	
電気電子工学科	4	75		305		1.06	平成 12 年度		平成 22 年度入学定員変更	
機械システム工学科	4	115		465		1.03	平成 2 年度		平成 22 年度入学定員変更	
（夜間主コース）										
システム創成工学科	4	50		150	学士（工学）	1.03	平成 22 年度			
物質化学工学科	—	—		—		—			平成 22 年度から学生募集停止	
応用生命システム工学科	—	—		—		—			平成 22 年度から学生募集停止	
情報科学科	—	—		—		—			平成 22 年度から学生募集停止	
電気電子工学科	—	—		—		—			平成 22 年度から学生募集停止	
機械システム工学科	—	—		—		—			平成 22 年度から学生募集停止	
農学部						1.04		山形県 鶴岡市若葉町 1 番 3 号		
食料生命環境学科	4	155		465	学士（農学）	1.04	平成 22 年度			
生物生産学科	—	—		—		—			平成 22 年度から学生募集停止	
生物資源学科	—	—		—		—			平成 22 年度から学生募集停止	
生物環境学科	—	—		—		—			平成 22 年度から学生募集停止	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科（AC対象学部等を含む）について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「－」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<大学院理工学研究科 有機材料工学専攻（博士後期課程）>

（１）専任教員数

届 出 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
25	13	38	0	32	13	45	0	
(28)	(13)	(41)	(0)	[7]	[0]	[7]	[0]	

（注）・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、
「変更状況」には、平成24年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

5 その他全般的事項

<大学院理工学研究科 有機材料工学専攻（博士後期課程）>

（１）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 2 4 年 1 0 月 1 日)

注3

大学番号：国013

[平成22年度設置]

計画の区分：大学院の研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

山形大学大学院 理工学研究科 バイオ工学専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 山形大学
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画部企画課

職名・氏名 課長・^{アラキ}荒木 ^{タカユキ}隆幸

電話番号 023-628-4190

（夜間） 023-628-4190

FAX 023-628-4849

e-mail kikadai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部）

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	既設大学等の状況	8
4	教員組織の状況	10
5	その他全般的事項	11

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 山 形 大 学

(2) 大 学 名

山 形 大 学

(3) 大学の位置

山形大学大学院理工学研究科
〒992-8510
山形県米沢市城南四丁目3番16号

(山形大学本部
〒990-8560
山形県山形市小白川町一丁目4番12号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成22年度開設の博士後期課程の場合（平成24年度までの3年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。）

(4) - ① 調査対象研究科等の名称、定員

調査対象研究科等の 名称（学位）	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
理工学研究科 バイオ工学専攻 （博士後期課程） 博士（工学）	3 年	4 人	12 人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区 分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	4 人 (若干人) [-]	人	4 人 (若干人) [-]	人	4 人 (若干人) [-]	人	1.16倍	
志願者数	5 (3) [1]	0 (-) [-]	4 (1) [1]	- (-) [-]	6 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	5 (3) [1]	0 (-) [-]	4 (1) [1]	- (-) [-]	6 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	4 (2) [1]	0 (-) [-]	4 (1) [1]	- (-) [-]	6 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	4 (2) [1]	0 (-) [-]	4 (1) [1]	- (-) [-]	6 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.00		1.00		1.50			

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については、届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
			春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1]	[-]	4	0	[1]	[-]	[-]	[-]	
2年次					[1]	[-]	[1]	[-]	
3年次					4	0	3	-	
計	[1]		4		[2]		[2]		
					8		13		

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	4 人	0 人	平成22年度	人	人		0.0 %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	4 人	1 人	平成23年度	1 人	人	除籍	25 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	6 人	0 人	平成24年度	人	人		0.0 %
合 計	14 人	1 人					7.1 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学研究科 バイオ工学専攻>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置						備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
専 門 科 目	精密有機合成化学特論	1 後		2		1							
	天然物合成化学特論	1 前		2		1							
	磁気共鳴計測特論	1 前		2		1							
	熱エネルギー制御工学特論	1 後		2		1							
	生体情報特論	1 後		2		1	4					昇任による職位の変更 (22)	
	生物化学工学特論	1 前		2		1							
	生体機能関連化学特論	1 後		2			1						
	ソフト界面科学特論	1 前		2			1						
	分離計測化学特論	1 後		2			1						
	粉体物性工学特論	1 前		2			1						
	生体模倣科学特論	1 前		2			1						
	機能性高分子合成特論	1 前		2			1						
	システム制御理論特論	1 前		2								兼 1	
	ロボットシステム特論	1 後		2								兼 1	
	神経情報システム特論	1 前		2								兼 1	
	生体生理工学特論	1 前		2								兼 1	
	センシングシステム特論	1 前		2								兼 1	
	生命情報学特論	1 後		2								兼 1	
	再生医学特論	1 前		2								兼 1	
	先端情報通信LSIシステム特論	1 後		2								兼 1	
	ロボスト制御特論	1 後		2								兼 1	
							14		6				
							10	13		4			人事異動のため (24)
							8	12		2			人事異動のため (23)
	バイオ工学研究計画	2 通	0				6	8		4			人事異動のため (22)
								14		6			
							10	13		4			人事異動のため (24)
							8	12		2			人事異動のため (23)
	バイオ工学特別計画研究	1 通	2				6	8		4			人事異動のため (22)
								14		6			
							10	13		4			人事異動のため (24)
							8	12		2			人事異動のため (23)
	バイオ工学特別教育研修	1 通	0				6	8		4			人事異動のため (22)
							14		6				
						10	13		4			人事異動のため (24)	
						8	12		2			人事異動のため (23)	
バイオ工学特別演習 B	1～3 通	0				6	8		4			人事異動のため (22)	
							14		6				
						10	13		4			人事異動のため (24)	
						8	12		2			人事異動のため (23)	
バイオ工学特別実験 B	1～3 通	4				6	8		4			人事異動のため (22)	

(注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

届 出 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 5	科目 21	科目 0	科目 26	科目 5 [0]	科目 21 [0]	科目 0 [0]	科目 26 [0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 *該当無し

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているに関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目 *該当無し

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

* 該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{* \text{ 該当無し}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	山 形 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 学 員	取 定 容 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文学部						1.04		山形県 山形市小白川町 一丁目4番12号	
人間文化学科	4	100		400	学士（文学）	1.08	平成8年度		
法経政策学科	4	200		800	学士 （法学、経済 学、政策科学）	1.02	平成18年度		
（学部共通）			3年次20	40					
地域教育文化学部						1.06		山形県 山形市小白川町 一丁目4番12号	
地域教育文化学科	4	240		240	学士（教育学） 学士（学術）	1.06	平成24年度		
地域教育学科	—	—		—		—			平成24年度から学生募集停止
文化創造学科	—	—		—		—			平成24年度から学生募集停止
生活総合学科	—	—		—		—			平成24年度から学生募集停止
理学部						1.03		山形県 山形市小白川町 一丁目4番12号	
数理科学科	4	45		180	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理学科	4	35		140		1.07	平成7年度		
物質生命化学科	4	45		180		1.00	平成7年度		
生物学科	4	30		120		1.00	平成7年度		
地球環境学科	4	30		120		1.01	平成7年度		
医学部						1.00		山形県 山形市飯田西 二丁目2番2号	
医学科	6	125		705	学士（医学）	1.00	昭和48年度		平成22年度入学定員変更
看護学科	4	60	3年次5	250	学士（看護学）	1.01	平成5年度		平成22年度第3年次編入学定員変更
工学部						1.05		山形県 米沢市城南四丁目 3番16号	
（昼間コース）									
機能高分子工学科	4	110		445	学士（工学）	1.05	平成12年度		平成22年度入学定員変更
物質化学工学科	4	75		340		1.04	平成12年度		平成22年度入学定員変更
バイオ化学工学科	4	60		180		1.03	平成22年度		
応用生命システム工学科	4	60		240		1.06	平成12年度		
情報科学科	4	75		305		1.07	平成12年度		平成22年度入学定員変更
電気電子工学科	4	75		305		1.06	平成12年度		平成22年度入学定員変更
機械システム工学科	4	115		465		1.03	平成2年度		平成22年度入学定員変更
（夜間主コース）									
システム創成工学科	4	50		150	学士（工学）	1.03	平成22年度		
物質化学工学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
応用生命システム工学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
情報科学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
電気電子工学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
機械システム工学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
農学部						1.04		山形県 鶴岡市若葉町1番 3号	
食料生命環境学科	4	155		465	学士（農学）	1.04	平成22年度		
生物生産学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
生物資源学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
生物環境学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科(ＡＣ対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成２４年５月１日現在の状況を記入してください。
(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第２位まで(小数点第３位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「－」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<大学院理工学研究科 バイオ工学専攻（博士後期課程）>

（1）専任教員数

届 出 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
10	8	18	0	16	12	28	0	
(14)	(8)	(22)	(0)	[6]	[4]	[10]	[0]	

（注）・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、
「変更状況」には、平成24年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に届出時の
計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

5 その他全般的事項

<大学院理工学研究科 バイオ工学専攻（博士後期課程）>

（１）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成24年10月 1日)

注3

大学番号：国013

[平成22年度設置]

計画の区分：大学院の研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

山形大学大学院 理工学研究科 電子情報工学専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 山形大学
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画部企画課

職名・氏名 課長・^{アラキ}荒木 ^{タカユキ}隆幸

電話番号 023-628-4190

（夜間） 023-628-4190

F A X 023-628-4849

e-mail kikadai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部）

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	既設大学等の状況	8
4	教員組織の状況	10
5	その他全般的事項	11

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 山 形 大 学

(2) 大 学 名

山 形 大 学

(3) 大学の位置

山形大学大学院理工学研究科

〒992-8510

山形県米沢市城南四丁目3番16号

山形大学本部

〒990-8560

山形県山形市小白川町一丁目4番12号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成22年度開設の博士後期課程の場合（平成24年度までの3年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。）

(4) - ① 調査対象研究科等の名称、定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
理工学研究科 電子情報工学専攻 （博士後期課程） 博士（工学）	3年	5人	15人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区 分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	5人 (若干人) [-]		5人 (若干人) [-]		5人 (若干人) [-]		0.66倍	
志願者数	4 (1) [-]	2 (1) [1]	2 (1) [-]	1 (1) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	3 (1) [-]	2 (1) [1]	2 (1) [-]	1 (1) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	3 (1) [-]	2 (1) [1]	2 (1) [-]	1 (1) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	3 (1) [-]	2 (1) [1]	2 (1) [-]	1 (1) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.00		0.60		0.40			

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については、届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にして下さい。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 3	[1] 2	[-] 2	[-] 1	[-] 2	[-] -	
2年次			[-] 3	[1] 2	[-] 2	[-] 1	
3年次					[-] 2	[1] 2	
計	[1] 5		[1] 8		[1] 9		

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	5 人	1 人	平成22年度	人	人	就職	20 %
			平成23年度	1 人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	3 人	0 人	平成23年度	人	人		0.0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	2 人	0 人	平成24年度	人	人		0.0 %
合 計	10 人	1 人					10 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学研究科 電子情報工学専攻>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	超音波機能デバイス工学特論	1 後		2		1					
	強力超音波工学特論	1 前		2		1					
	電気流体力学特論	1 前		2			1				
	気中イオン工学特論	1 後		2		1					
	パルス電磁プラズマ工学特論	1 前		2			1				
	高電界応用工学特論	1 前		2			1				
	テラヘルツエレクトロニクス	1 後		2			1				
	半導体光工学特論	1 前		2			1				
	通信システム工学特論	1 後		2		1					
	電子材料プロセス工学特論	1 後		2		1					
	超伝導エレクトロニクス特論	1 前		2		1					
	ナノ半導体デバイス特論	1 後		2		1					
	量子機能デバイス工学特論	1 前		2		1					
	メディア信号処理特論	1 前		2			1				
	固体センサ工学特論	1 前		2			1				
	磁気物性特論	1 前		2			1				
	超伝導デバイス工学特論	1 後		2			1				
	ナノ磁気デバイス工学特論	1 前		2		1					
	磁性材料物理学	1 後		2		1					
	生体生理工学特論	1 前		2		1					
	言語情報特論	1 前		2		1					
	神経情報システム特論	1 後		2		1					
	音声言語処理特論	1 後		2			1				
	応用解析学特論	1 後		2		1					
	関数解析学特論	1 後		2		1	1				昇任による職位の変更 (22)
	数値情報特論	1 前		2		1					
	知能情報特論	1 後		2			1				
	情報通信ネットワーク特論	1 後		2		1					
	ロバスト制御特論	1 後		2			1				
	統計情報特論	1 後		2		1					
	センシングシステム特論	1 前		2		1					
	計測情報特論	1 前		2		1					
	ロボットシステム特論	1 後		2		1					
	画像伝送特論	1 前		2		1					
	高性能論理回路特論	1 後		2		1					
	複雑系特論	1 前		2			1				
	先端情報通信 L S I システム特論	1 後		2			1				
	生命情報学特論	1 後		2			1				
	神経数理システム論	1 後		2					1		
	超伝導高周波デバイス	1 後		2			1				
光波伝送工学特論	1 後		2			1					
脳機能計測論	1 後		2			1					
非破壊検査システム特論	1 後		2			1		1		昇任による職位の変更 (22)	
再生医学特論	1 前		2			1					
						19				人事異動のため (24)	
						20	18			人事異動のため (23)	
						21	19		2	人事異動及び担当教員の資格再審査のため (22)	
電子情報工学研究計画	2 通	0				23	24		14		

					19				人事異動のため (24)
					20	18			人事異動のため (23)
					21	19		2	人事異動及び担当教員の資格再審査のため (22)
					23	24		14	
					19				人事異動のため (24)
					20	18			人事異動のため (23)
					21	19		2	人事異動及び担当教員の資格再審査のため (22)
					23	24		14	
					19				人事異動のため (24)
					20	18			人事異動のため (23)
					21	19		2	人事異動及び担当教員の資格再審査のため (22)
					23	24		14	
					19				人事異動のため (24)
					20	18			人事異動のため (23)
					21	19		2	人事異動及び担当教員の資格再審査のため (22)
					23	24		14	
					19				人事異動のため (24)
					20	18			人事異動のため (23)
					21	19		2	人事異動及び担当教員の資格再審査のため (22)
					23	24		14	

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	44	0	49	5	44	0	49	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目 *該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目 *該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

* 該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{* 該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学 学 校 名 称	山 形 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 定 容 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
人文学部	年	人	年次 人	人		倍			
人間文化学科	4	100	3 年次20	400	学士（文学）	1.08	平成8年度	山形県 山形市小白川町 一丁目4番12号	
法経政策学科	4	200		800	学士 （法学、経済 学、政策科学）	1.02	平成18年度		
（学部共通）				40					
地域教育文化学部						1.06		山形県 山形市小白川町 一丁目4番12号	
地域教育文化学科	4	240		240	学士（教育学） 学士（学術）	1.06	平成24年度		
地域教育学科	—	—		—		—			平成24年度から学生募集停止
文化創造学科	—	—		—		—			平成24年度から学生募集停止
生活総合学科	—	—		—		—			平成24年度から学生募集停止
理学部						1.03		山形県 山形市小白川町 一丁目4番12号	
数理科学科	4	45		180	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理学科	4	35		140		1.07	平成7年度		
物質生命化学科	4	45		180		1.00	平成7年度		
生物学科	4	30		120		1.00	平成7年度		
地球環境学科	4	30		120		1.01	平成7年度		
医学部						1.00		山形県 山形市飯田西 二丁目2番2号	
医学科	6	125	3 年次 5	705	学士（医学）	1.00	昭和48年度		平成22年度入学定員変更
看護学科	4	60		250	学士（看護学）	1.01	平成5年度		平成22年度第3年次編入学定員変更
工学部						1.05		山形県 米沢市城南四丁目 3番16号	
（昼間コース）									
機能高分子工学科	4	110		445	学士（工学）	1.05	平成12年度		平成22年度入学定員変更
物質化学工学科	4	75		340		1.04	平成12年度		平成22年度入学定員変更
バイオ化学工学科	4	60		180		1.03	平成22年度		
応用生命システム工学科	4	60		240		1.06	平成12年度		
情報科学科	4	75		305		1.07	平成12年度		平成22年度入学定員変更
電気電子工学科	4	75		305		1.06	平成12年度		平成22年度入学定員変更
機械システム工学科	4	115		465		1.03	平成2年度		平成22年度入学定員変更
（夜間主コース）									
システム創成工学科	4	50		150	学士（工学）	1.03	平成22年度		
物質化学工学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
応用生命システム工学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
情報科学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
電気電子工学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
機械システム工学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
農学部						1.04		山形県 鶴岡市若葉町1番 3号	
食料生命環境学科	4	155		465	学士（農学）	1.04	平成22年度		
生物生産学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
生物資源学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
生物環境学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科（ＡＣ対象学部等を含む）について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成２４年５月１日現在の状況を記入してください。
（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第２位まで（小数点第３位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「－」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

＜大学院理工学研究科 電子情報工学専攻（博士後期課程）＞

（１）専任教員数

届 出 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
38	23	61	0	28	11	39	0	
(28)	(14)	(42)	(0)	[△10]	[△12]	[△22]	[0]	

（注）・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、
「変更状況」には、平成24年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に届出時の
計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

5 その他全般的事項

<大学院理工学研究科 電子情報工学専攻（博士後期課程）>

（１）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ☐ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 2 4 年 1 0 月 1 日)

大学番号：国013

注3

[平成22年度設置]

計画の区分：大学院の研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

山形大学大学院 理工学研究科 機械システム工学専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 山形大学
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画部企画課

職名・氏名 課長・^{アラキ}荒木 ^{タカユキ}隆幸

電話番号 023-628-4190

（夜間） 023-628-4190

FAX 023-628-4849

e-mail kikadai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部）

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	既設大学等の状況	8
4	教員組織の状況	10
5	その他全般的事項	11

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 山 形 大 学

(2) 大 学 名

山 形 大 学

(3) 大学の位置

山形大学大学院理工学研究科

〒992-8510

山形県米沢市城南四丁目3番16号

山形大学本部

〒990-8560

山形県山形市小白川町一丁目4番12号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成22年度開設の博士後期課程の場合（平成24年度までの3年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。）

(4) - ① 調査対象研究科等の名称、定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
理工学研究科 機械システム工学専攻 （博士後期課程） 博士（工学）	3年	4人	12人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区 分	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 人 4 (若干人) [-]		人 人 4 (若干人) [-]		人 人 4 (若干人) [-]		0.50倍	
志願者数	2 (-) [1]	1 (-) [1]	2 (-) [2]	1 (-) [-]	0 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	2 (-) [1]	1 (-) [1]	2 (-) [2]	1 (-) [-]	0 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	2 (-) [1]	1 (-) [1]	2 (-) [2]	1 (-) [-]	0 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	2 (-) [1]	1 (-) [1]	2 (-) [2]	1 (-) [-]	0 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B / A	0.75		0.75		0.00			

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については、届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[1] 2	[1] 1	[2] 2	[-] 1	[-] 0	[-] -	
2 年次			[1] 2	[1] 1	[2] 2	[-] 1	
3 年次					[1] 2	[1] 1	
計	[2] 3		[4] 6		[4] 6		

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	3 人	0 人	平成22年度	人	人		0.0 %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	3 人	0 人	平成23年度	人	人		0.0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	0 人	0 人	平成24年度	人	人		0.0 %
合 計	6 人	0 人					0.0 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学研究科 機械システム工学専攻>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	強度設計特論	1 前		2		1					
	大変形非弾性力学	1 前		2		1					
	スマートマテリアルの構造・変形・機能	1 後		2					1		
	環境熱工学	1 前		2		1					
	知的流体情報学	1 後		2		1					
	流体科学特論	1 前		2			1				
	熱物性工学特論	1 後		2		1					
	熱と物質移動のシミュレーション技法	1 前		2			1				
	燃焼科学特論	1 後		2			1				
	弾性波動伝播特論	1 後		2		1					
	振動制御工学	1 前		2		1					
	フラクチャ・コントロール	1 前		2		1					
	Numerical methods for Analysis of Dynamic Stability Problems	1 前		2			1				
	医療機器開発特論	1 前		2		1	1				昇任による職位の変更 (22)
	計算材料科学特論	1 後		2			1				
	ファジィ・ニューラルシステム特論	1 前		2		1					
	ロボット応用工学特論	1 後		2		1					
	システム設計特論	1 前		2		1					
	空間リンク機構設計特論	1 前		2			1				
	知的CADシステム論	1 前		2			1				
	知能ロボティクス特論	1 後		2		1					
						12	10				人事異動のため (24)
						10	9		1		人事異動のため (23)
	機械システム工学研究計画	2 通	0			11	13		8		人事異動及び担当教員の資格再審査のため (22)
						12	10				人事異動のため (24)
						10	9		1		人事異動のため (23)
	機械システム工学特別計画研究	1 通	2			11	13		8		人事異動及び担当教員の資格再審査のため (22)
						12	10				人事異動のため (24)
						10	9		1		人事異動のため (23)
	機械システム工学特別教育研修	1 通	0			11	13		8		人事異動及び担当教員の資格再審査のため (22)
						12	10				人事異動のため (24)
						10	9		1		人事異動のため (23)
	機械システム工学特別演習B	1～3 通	0			11	13		8		人事異動及び担当教員の資格再審査のため (22)
						12	10				人事異動のため (24)
						10	9		1		人事異動のため (23)
	機械システム工学特別実験B	1～3 通	4			11	13		8		人事異動及び担当教員の資格再審査のため (22)

(注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

届 出 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 5	科目 21	科目 0	科目 26	科目 5 [0]	科目 21 [0]	科目 0 [0]	科目 26 [0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 *該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目 *該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

* 該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{* \text{ 該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	山 形 大 学									備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定	学 員	編入学 定 員	収 定	容 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年		人	年次 人		人		倍			
人文学部								1.04		山形県 山形市小白川町 一丁目4番12号	
人間文化学科	4		100			400	学士（文学）	1.08	平成8年度		
法経政策学科	4		200			800	学士 （法学、経済 学、政策科学）	1.02	平成18年度		
（学部共通）				3年次20		40					
地域教育文化学部								1.06		山形県 山形市小白川町 一丁目4番12号	
地域教育文化学科	4		240			240	学士（教育学） 学士（学術）	1.06	平成24年度		
地域教育学科	—		—			—		—			平成24年度から学生募集停止
文化創造学科	—		—			—		—			平成24年度から学生募集停止
生活総合学科	—		—			—		—			平成24年度から学生募集停止
理学部								1.03		山形県 山形市小白川町 一丁目4番12号	
数理科学科	4		45			180	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理学科	4		35			140		1.07	平成7年度		
物質生命化学科	4		45			180		1.00	平成7年度		
生物学科	4		30			120		1.00	平成7年度		
地球環境学科	4		30			120		1.01	平成7年度		
医学部								1.00		山形県 山形市飯田西 二丁目2番2号	
医学科	6		125			705	学士（医学）	1.00	昭和48年度		平成22年度入学定員変更
看護学科	4		60	3年次5		250	学士（看護学）	1.01	平成5年度		平成22年度第3年次編入学定員変更
工学部 （昼間コース）								1.05		山形県 米沢市城南四丁目 3番16号	
機能高分子工学科	4		110			445	学士（工学）	1.05	平成12年度		平成22年度入学定員変更
物質化学工学科	4		75			340		1.04	平成12年度		平成22年度入学定員変更
バイオ化学工学科	4		60			180		1.03	平成22年度		
応用生命システム工学科	4		60			240		1.06	平成12年度		
情報科学科	4		75			305		1.07	平成12年度		平成22年度入学定員変更
電気電子工学科	4		75			305		1.06	平成12年度		平成22年度入学定員変更
機械システム工学科	4		115			465		1.03	平成2年度		平成22年度入学定員変更
（夜間主コース）											
システム創成工学科	4		50			150	学士（工学）	1.03	平成22年度		
物質化学工学科	—		—			—		—			平成22年度から学生募集停止
応用生命システム工学科	—		—			—		—			平成22年度から学生募集停止
情報科学科	—		—			—		—			平成22年度から学生募集停止
電気電子工学科	—		—			—		—			平成22年度から学生募集停止
機械システム工学科	—		—			—		—			平成22年度から学生募集停止
農学部								1.04		山形県 鶴岡市若葉町1番 3号	
食料生命環境学科	4		155			465	学士（農学）	1.04	平成22年度		
生物生産学科	—		—			—		—			平成22年度から学生募集停止
生物資源学科	—		—			—		—			平成22年度から学生募集停止
生物環境学科	—		—			—		—			平成22年度から学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<大学院理工学研究科 機械システム工学専攻（博士後期課程）>

（１）専任教員数

届 出 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
15	17	32	0	12	11	23	0	
(11)	(9)	(20)	(0)	[Δ3]	[Δ6]	[Δ9]	[0]	

（注）・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、
「変更状況」には、平成24年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

5 その他全般的事項

<大学院理工学研究科 機械システム工学専攻（博士後期課程）>

（１）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 2 4 年 1 0 月 1 日)